

# 静岡県月例経済報告

(令和2年11月号)

……令和2年9月を中心とした県内経済のすがた……

No. 535

— 静岡県経済産業部 —

## 目 次

I 静岡県経済の概況 .....	1
II 静岡県主要経済指標の概況 .....	4
・需要面 .....	4
・生産面 .....	12
・雇用面 .....	14
・その他 .....	17
III 静岡県主要産業の動向 .....	21
IV データからみた県内主要産業 .....	24

## 利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

# I 静岡県経済の概況

〔本稿は、令和2年9月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。〕

## 概況

令和2年9月を中心とした静岡県の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる。

先行きについては、経済活動の再開が進むにつれて、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、新型コロナウイルス感染症の動向に、より一層注視する必要がある。

雇用情勢は、厳しい状況にある。

- ・ 個人消費は、持ち直しつつある。
- ・ 設備投資は、減少している。
- ・ 輸出は、持ち直しつつある。
- ・ 生産は、持ち直しつつある。

## 需要面

### 「個人消費は、持ち直しつつある」

大型小売店販売額(9月)は、百貨店が12か月連続、スーパーが8か月ぶりに前年実績を下回ったことから、総額でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(9月)は、家電大型専門店が5か月ぶり、コンビニエンスストアが7か月連続、ドラッグストアが11か月ぶり、ホームセンターが8か月ぶりに前年実績を下回ったことから、総額でも6か月ぶりに前年実績を下回った。

自動車(新車)新規登録台数(9月)は、乗用車、軽自動車がいずれも12か月連続で前年実績を下回ったことから、総数でも12か月連続で前年実績を下回った。

### 「住宅建設は、前年を上回った」

新設住宅着工戸数(9月)は、持家が6か月連続で前年実績を下回ったものの、貸家が4か月ぶり、分譲住宅が2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

### 「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額(9月)は、2か月ぶりに前年実績を下回った。

### 「設備投資は、減少している」

日銀短観(9月調査)の令和2年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも減少する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも減少する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(9月)は、2か月連続で前年実績を下回った。

### 「輸出は、持ち直しつつある」

#### 「輸入は、前年を下回った」

輸出総額（9月）は、原動機、自動車の部分品がいずれも8か月連続、エアコンが13か月連続、二輪自動車類が9か月連続で前年実績を下回ったものの、自動車が4か月連続、科学光学機器が3か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも8か月ぶりに前年実績を上回った。

また、輸入総額（9月）は、魚介類及び同調製品、木材、パルプがいずれも3か月連続、紙類及び同製品が6か月連続、原動機が5か月連続、自動車の部分品が18か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも17か月連続で前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、1,446億円の輸出超過となった。

## 生産面

### 「生産は、持ち直しつつある」

鉱工業生産指数（9月）は、電気機械が14か月ぶり、輸送機械が20か月ぶりに前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械が11か月連続、化学が8か月連続、パルプ・紙・紙加工品が14か月連続、食料品・たばこが2か月ぶりに前年水準を下回ったことから、総合でも16か月連続で前年水準を下回った。また、前月比は4か月連続で上昇した。

なお、鉱工業在庫指数（9月）は、総合では2か月連続で前年水準を下回った。

## 雇用面

### 「雇用情勢は、厳しい状況にある」

有効求人倍率（9月）は0.90倍で、前月を0.02ポイント上回った。また、2か月ぶりに0.9倍台となった。なお、18か月連続で全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員（9月）は、13か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数（8月）は、19か月連続で前年実績を下回った。

## その他

### 「金融環境は、貸出残高、信用保証金額のいずれも前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高（9月）は、前年同月比 6.7%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額（9月）は、前年同月比 243.4%増と前年実績を上回った。

### 「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を下回った」

企業倒産（10月）は、件数は11件（前年同月比 26.6%減）、負債総額は8億900万円（同 53.0%減）と、いずれも前年実績を下回った。

## <トピックス> 「ふじのくにCNF総合展示会」の開催（オンライン開催）

ふじのくにCNF総合展示会は、静岡県が開催する「セルロースナノファイバー（CNF）」に関する国内最大級の展示商談会です。

今年度は、11/24（火）からオンラインにて開催しています。全国から過去最多の77企業・団体が出展しており、製品展示やプレゼンテーションが視聴できます。また、開催期間中、CNFに関する様々な講演・セミナーを相次ぎ配信するとともに、県工業技術研究所の研究者による技術相談も受けられます。

当展示会は**事前登録なし、無料で入場できます**ので、ぜひご参加下さい。

【開催期間】 2020年 **11月24日**（火）～ 2021年 **3月31日**（水）

## CONTENTS

### ■ 企業展示（常設展示）

- ◆展示ブース（製品展示） 77社・団体
- ◆企業プレゼンテーション（動画） 13社・団体

CNFサンプル提供企業、CNF応用製品開発企業、CNF製造機械企業、CNF分析企業、大学・研究機関 等が出展

### ■ 企画・イベント（期間限定）

- ◆特別講師による講演・セミナー（開催期間中毎月開催）  
開催期間中に10本以上の講演・セミナーを入れ替え配信
- ◆県工業技術研究所 研究者による技術相談（11/24(火)～12/8(火)（土日を除く））  
CNFに関する個別相談(オンライン)を実施

ふじのくにCNF総合展示会ウェブサイト  
(<https://fujinokuni-cnf.com>)



### 【お問い合わせ】

ふじのくにCNF総合展示会運営事務局（株式会社エイエイピー）  
Mail : [info-cnf@app.co.jp](mailto:info-cnf@app.co.jp) TEL : 054-284-6754

### 【主催】

ふじのくにCNFフォーラム・  
静岡県

## II 静岡県主要経済指標の概況

### 需 要 面

#### 1 個人消費

##### (1) 大型小売店販売額

9月 = 34,892百万円

\*前年同月比： 10.7%減

(県内3百貨店、152スーパー合計)

<概況>

9月の大型小売店販売額は34,892百万円で、前年同月比 10.7%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 31.9%減）が12か月連続、スーパー（同 5.4%減）が8か月ぶりに前年実績を下回った。

商品別では、飲食料品（前年同月比 0.3%増）が8か月連続で前年実績を上回ったものの、衣料品（同 34.9%減）、身の回り品（同 29.8%減）がいずれも12か月連続、家庭用品（同 34.5%減）が3か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は8.4%減と、4か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
販売額(百万円)	30,869	35,437	31,454	34,484	36,061	36,427	37,924	34,892
前年同月比(%)	3.2	▲5.9	▲11.9	▲4.8	▲0.5	▲0.4	0.8	▲10.7
うち百貨店(%)	▲5.5	▲28.9	▲64.2	▲50.5	▲13.8	▲13.5	▲14.1	▲31.9
スーパー(%)	5.3	0.1	0.3	5.0	2.6	2.7	3.7	▲5.4
(参考1)全国前年同月比(%)	0.2	▲10.1	▲22.1	▲16.7	▲3.5	▲4.2	▲3.2	▲13.9
うち百貨店(%)	▲10.5	▲31.9	▲71.1	▲63.6	▲17.3	▲18.6	▲20.0	▲32.1
スーパー(%)	5.3	1.3	0.9	4.5	3.2	3.0	3.7	▲4.7
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	4.5	▲4.9	▲8.8	▲1.8	0.5	0.9	3.2	▲8.4

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
衣料品	▲3.7	▲32.8	▲63.8	▲41.5	▲8.3	▲19.8	▲17.3	▲34.9
うち紳士服・洋品	▲3.7	▲29.1	▲60.8	▲32.4	▲5.8	▲25.9	▲27.5	▲42.6
婦人・子供服・洋品	▲3.4	▲34.4	▲65.9	▲45.5	▲9.1	▲17.5	▲13.9	▲31.9
身の回り品	▲6.0	▲27.7	▲57.8	▲44.0	▲4.8	▲2.4	▲10.3	▲29.8
飲食料品	5.1	2.5	2.5	5.8	1.7	3.8	5.3	0.3
家庭用品	▲0.7	▲15.5	▲23.9	▲13.3	0.7	▲9.8	▲10.8	▲34.5
うち家庭用電気機械器具	▲2.2	▲25.8	▲26.1	▲12.3	▲7.2	▲0.8	▲8.4	▲39.9

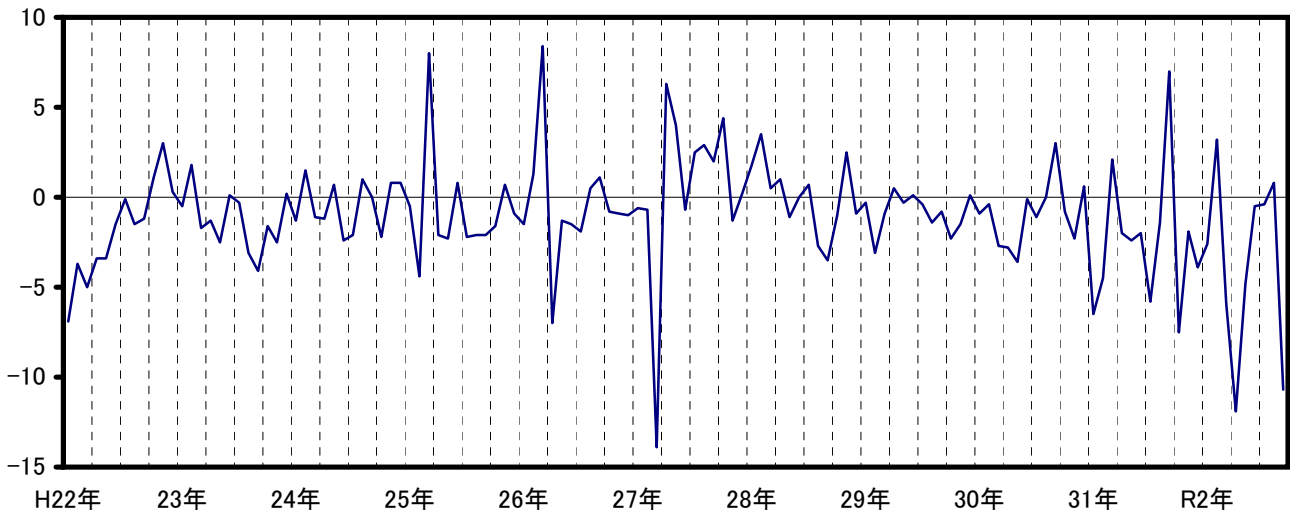
(注) 店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 専門量販店等販売額

9月 = 70,675百万円

\*前年同月比： 9.6%減

(県内89家電大型専門店、1,676コンビニエンスストア、517ドラッグストア、114ホームセンター合計)

<概況>

9月の専門量販店等販売額は70,675百万円で、前年同月比 9.6%減となり、6か月ぶりに前年実績を下回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比 27.8%減）が5か月ぶり、コンビニエンスストア（同 3.0%減）が7か月連続、ドラッグストア（同 7.6%減）が11か月ぶり、ホームセンター（同 12.2%減）が8か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
販売額(百万円)	67,080	71,656	69,253	72,520	73,680	75,788	80,322	70,675
前年同月比(%)	9.4	▲0.4	0.6	2.7	5.5	2.3	4.7	▲9.6
うち 家電大型専門店(%)	3.1	▲8.0	▲3.7	11.5	25.9	17.0	13.2	▲27.8
コンビニエンスストア(%)	3.5	▲5.5	▲9.3	▲9.0	▲4.6	▲8.3	▲5.5	▲3.0
ドラッグストア(%)	18.7	7.6	11.6	8.9	7.2	7.3	9.6	▲7.6
ホームセンター(%)	10.6	5.1	8.5	18.5	14.7	10.3	19.6	▲12.2
(参考)全国前年同月比(%)	8.5	▲1.9	▲2.9	0.2	5.8	1.2	2.9	▲10.6

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

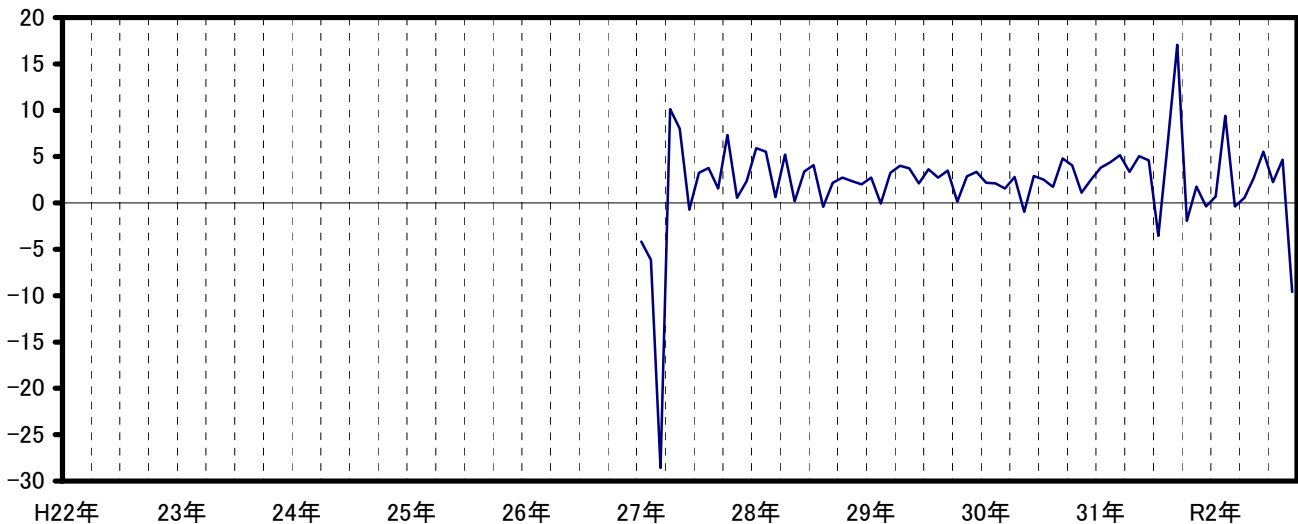
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



### (3) 自動車(新車)新規登録台数

9月 = 16,554 台

\*前年同月比： 11.6%減

(乗用車、軽自動車合計)

#### <概況>

9月の自動車(新車)新規登録台数は16,554台(前年同月比 11.6%減)と、12か月連続で前年実績を下回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 15.5%減)、軽自動車(同 6.8%減)がいずれも12か月連続で前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録台数(台)	15,947	20,352	9,339	7,392	11,764	13,880	11,435	16,554
前年同月比(%)	▲ 10.2	▲ 8.1	▲ 26.0	▲ 45.1	▲ 23.8	▲ 12.1	▲ 12.0	▲ 11.6
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 9.8	▲ 8.9	▲ 30.4	▲ 46.7	▲ 22.6	▲ 12.8	▲ 14.8	▲ 14.8

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

#### <車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

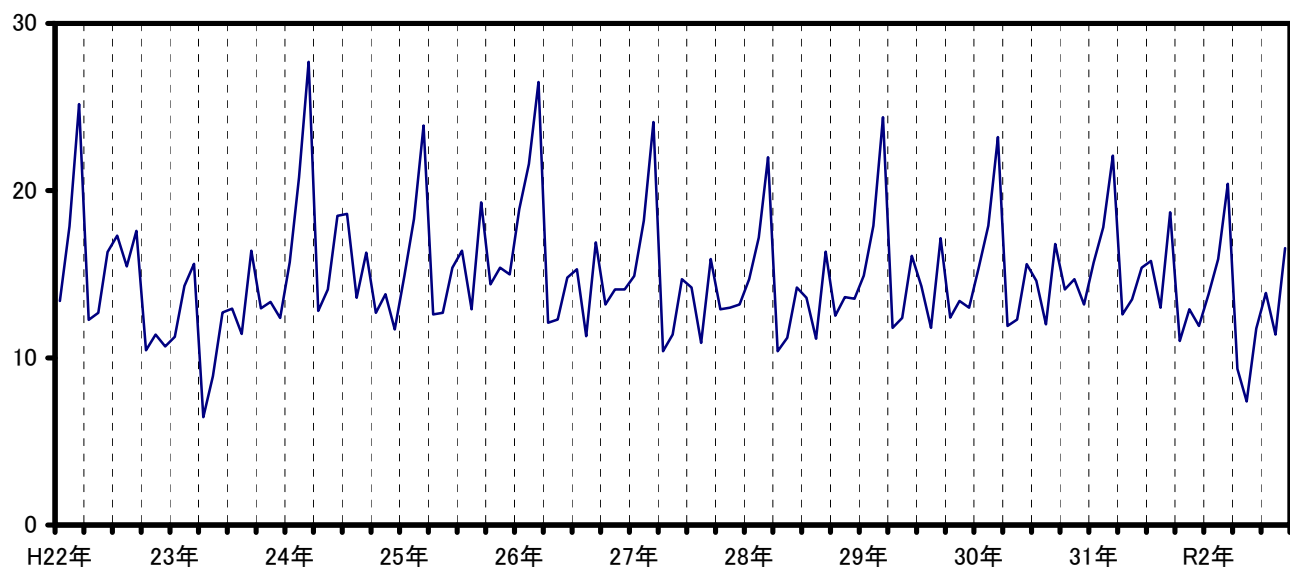
	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全乗用車	▲ 10.2	▲ 8.1	▲ 26.0	▲ 45.1	▲ 23.8	▲ 12.1	▲ 12.0	▲ 11.6
乗用車	▲ 13.2	▲ 11.4	▲ 25.7	▲ 42.1	▲ 27.5	▲ 18.6	▲ 15.5	▲ 15.5
軽自動車	▲ 6.7	▲ 4.0	▲ 26.3	▲ 48.5	▲ 19.4	▲ 4.2	▲ 8.2	▲ 6.8

<資料>県税務課

#### <過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車



## 2 新設住宅着工戸数

9月 = 1,773 戸

\*前年同月比： 15.4%増

### <概況>

9月の新設住宅着工戸数は1,773戸で、前年同月比 15.4%増と、2か月ぶりに前年実績を上回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 1.0%減）が6か月連続で前年を下回ったものの、貸家（同 45.0%増）が4か月ぶり、分譲住宅（同 32.6%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

### <最近の動き>

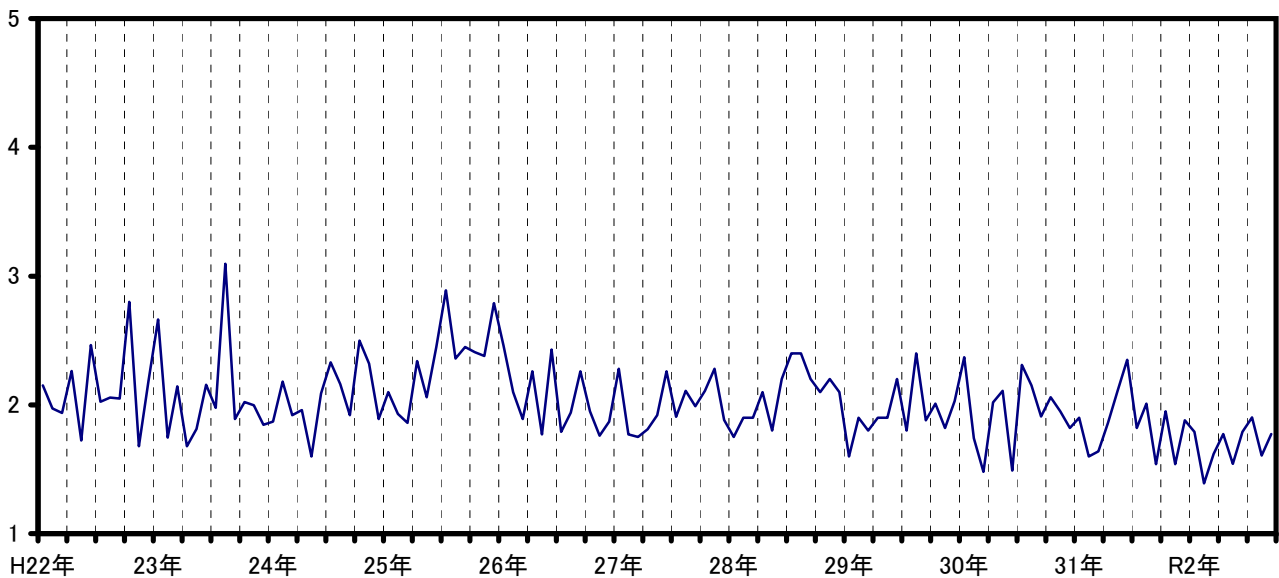
	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
戸数（戸）	1,391	1,624	1,774	1,541	1,790	1,902	1,606	1,773
前年同月比（%）	▲ 13.2	▲ 1.1	▲ 4.4	▲ 27.0	▲ 23.8	4.4	▲ 20.2	15.4
うち持家（%）	▲ 18.9	5.8	▲ 8.1	▲ 40.1	▲ 17.1	▲ 13.2	▲ 22.7	▲ 1.0
貸家（%）	▲ 21.4	▲ 6.6	15.1	18.2	▲ 39.2	▲ 1.4	▲ 23.5	45.0
分譲住宅（%）	21.8	▲ 11.4	▲ 15.4	▲ 46.2	▲ 10.9	92.7	▲ 5.2	32.6
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 12.3	▲ 7.6	▲ 12.9	▲ 12.3	▲ 12.8	▲ 11.4	▲ 9.1	▲ 9.9

<資料>県住まいづくり課

### <過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



### 3 公共工事請負金額

9月 = 53,175百万円

\*前年同月比：17.2%減

(建設保証会社保証実績)

#### <概況>

9月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は53,175百万円で、前年同月比17.2%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は1,274件で、前年同月比18.4%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
金額(百万円)	13,907	21,165	68,572	51,996	61,723	41,226	37,227	53,175
前年同月比(%)	29.9	46.0	▲15.9	59.9	49.8	▲3.0	23.9	▲17.2
年度累計前年同月比(%)	27.4	28.3	▲15.9	5.7	17.4	13.0	14.5	7.5
件数(件)	297	378	664	494	727	857	782	1,274
前年同月比(%)	78.9	41.0	18.8	▲13.8	8.5	▲2.7	2.8	18.4
年度累計前年同月比(%)	▲0.6	0.8	18.8	2.3	4.6	2.2	2.3	6.2

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

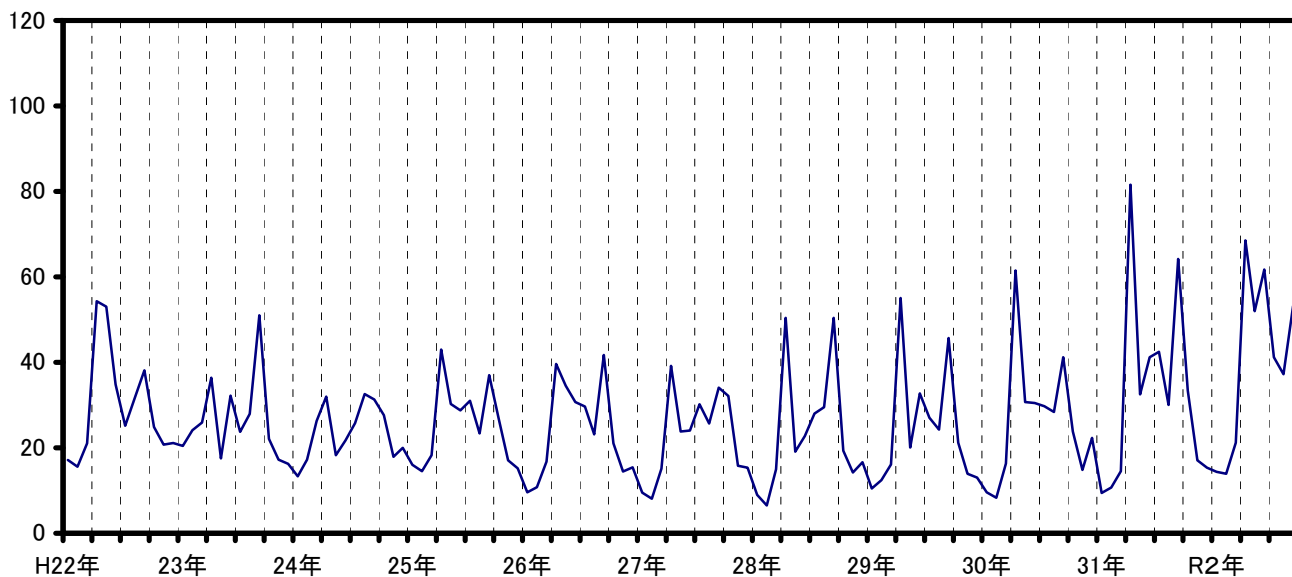
	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
国	79.8	58.9	▲40.4	56.2	25.7	23.7	23.5	40.6
独立行政法人等	9.4	▲86.6	▲61.1	317.0	255.2	255.5	407.7	▲70.7
県	48.6	191.3	64.1	8.8	46.2	▲7.2	39.0	24.6
市町	51.2	22.8	7.6	▲19.9	44.8	▲18.2	▲6.7	12.6
地方公社	-	-	▲85.8	-	-	▲78.4	▲98.6	▲64.9
その他	▲89.7	▲93.0	▲65.2	247.4	▲85.2	▲28.1	▲44.5	▲45.3

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



## 4 設備投資

### <概況>

令和元年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、いずれも製造業、非製造業、全産業の全てにおいて増加した。

令和2年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 8.7%減）、非製造業（同 3.4%減）、全産業（同 6.1%減）においていずれも減少する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 2.6%減）、非製造業（同 3.4%減）、全産業（同 2.8%減）においていずれも減少する計画となっている。

9月の着工建築物床面積（非居住用）は88,933㎡で、前年同月比 2.5%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

### <企業短期経済観測調査結果>（前年度比%） 設備投資（含む土地投資）

		R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
全産業	県	5.2	(▲0.7) ▲6.1
	全国	▲0.6	(▲1.9) ▲2.7
製造業	県	9.4	(▲1.9) ▲8.7
	全国	0.9	(▲3.3) ▲0.3
非製造業	県	1.0	(0.5) ▲3.4
	全国	▲1.5	(▲1.0) ▲4.1

### （ ）内は前回調査比修正率 ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
全産業	県	1.4	(▲0.7) ▲2.8
	全国	1.6	(▲1.8) ▲0.9
製造業	県	0.7	(▲0.8) ▲2.6
	全国	1.7	(▲2.4) 0.3
非製造業	県	3.0	(▲0.4) ▲3.4
	全国	1.5	(▲1.2) ▲2.2

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和2年9月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和2年9月調査)」

### <最近の動き>

	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	68,069	88,664	88,441	114,434	127,714	132,677	100,766	88,933
前年同月比（%）	▲ 55.5	15.5	▲ 35.3	▲ 23.5	▲ 21.6	24.5	▲ 14.8	▲ 2.5
(参考) 全国前年同月比（%）	▲ 2.6	11.5	▲ 9.1	▲ 2.6	▲ 18.2	▲ 22.6	▲ 8.2	7.8

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

### <参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R2年6月	9月	12月 (予測)
全産業	全産業	▲ 44	▲ 33	▲ 32
	製造業	▲ 56	▲ 43	▲ 35
	非製造業	▲ 31	▲ 24	▲ 28
(参考) 全国・全産業		▲ 31	▲ 28	▲ 27

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和2年9月調査)」

## 5 輸出

9月 = 216,939百万円

\*前年同月比： 32.3%増

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

9月の清水税関支署管内の輸出総額は216,939百万円で、前年同月比 32.3%増となり、8か月ぶりに前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 20.5%減）、自動車の部分品（同 10.9%減）がいずれも8か月連続、エアコン（同 8.4%減）が13か月連続、二輪自動車類（同 12.8%減）が9か月連続で前年実績を下回ったものの、自動車（同 90.1%増）が4か月連続、科学光学機器（同 25.3%増）が3か月ぶりに前年実績を上回った。

地域別にみると、アジア向け（前年同月比 16.2%増）が7か月ぶり、米国向け（同 67.3%増）が14か月ぶり、EU向け（同 31.9%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

### <最近の動き>

	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
輸出総額(百万円)	177,796	181,032	147,563	102,775	125,170	142,582	140,513	216,939
前年同月比(%)	▲1.5	▲10.3	▲13.3	▲32.6	▲29.2	▲31.5	▲13.5	32.3

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
原動機	▲13.4	▲14.7	▲37.1	▲58.9	▲51.3	▲40.4	▲39.4	▲20.5
エアコン	▲27.7	▲20.6	▲33.7	▲56.7	▲36.8	▲40.5	▲39.3	▲8.4
自動車	25.1	15.1	▲64.3	▲74.5	90.8	102.7	66.6	90.1
自動車の部分品	▲11.4	▲25.8	▲16.9	▲47.5	▲60.0	▲49.9	▲38.9	▲10.9
二輪自動車類	▲8.6	▲6.5	▲25.3	▲65.8	▲62.6	▲41.0	▲25.5	▲12.8
科学光学機器	42.0	19.8	7.3	43.3	30.6	▲0.7	▲4.5	25.3

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
アジア	2.4	▲14.2	▲1.2	▲13.5	▲23.4	▲18.4	▲12.6	16.2
米国	▲5.5	▲10.2	▲23.3	▲40.5	▲51.9	▲61.8	▲30.4	67.3
EU	▲4.3	▲11.3	▲27.4	▲51.3	▲8.9	▲0.1	3.8	31.9

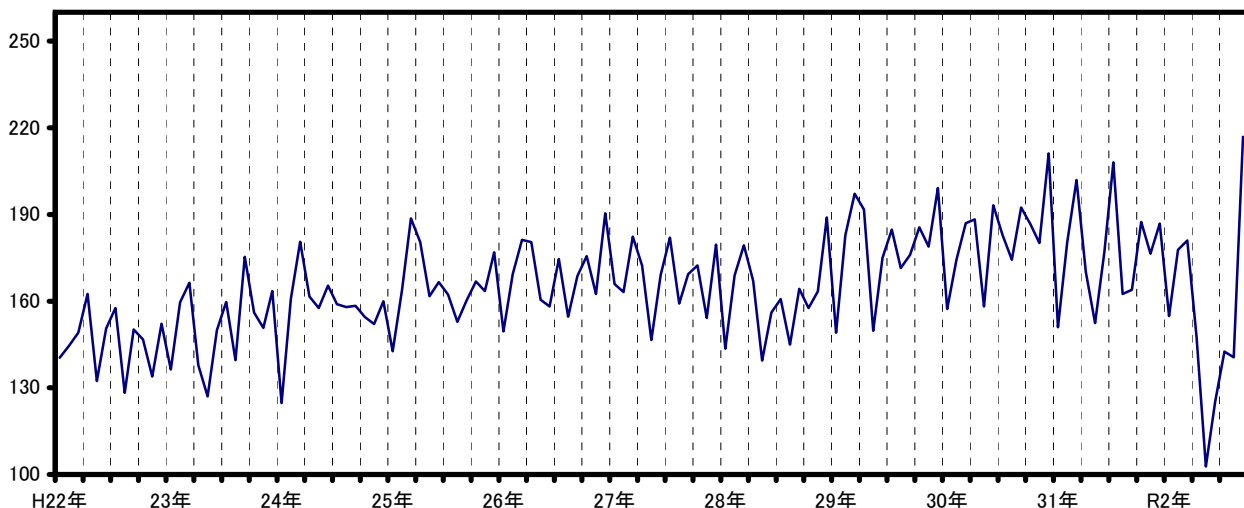
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。  
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



## 6 輸入

9月 = 72,320百万円

\*前年同月比： 13.5%減

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

9月の清水税関支署管内の輸入総額は72,320百万円で、前年同月比 13.5%減となり、17か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、魚介類及び同調製品（前年同月比 4.0%減）、木材（同 34.5%減）、パルプ（同 29.9%減）がいずれも3か月連続、紙類及び同製品（同 22.1%減）が6か月連続、原動機（同 11.8%減）が5か月連続、自動車の部分品（同 42.1%減）が18か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、EUから（前年同月比 1.7%増）が3か月ぶりに前年実績を上回ったものの、アジアから（同 21.4%減）が6か月連続、米国から（同 13.0%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
輸入総額(百万円)	66,626	89,323	87,630	75,883	74,880	72,097	70,479	72,320
前年同月比(%)	▲14.0	▲1.7	▲13.4	▲20.9	▲14.4	▲21.2	▲15.3	▲13.5

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
魚介類及び同調製品	▲17.0	▲5.1	▲18.6	▲21.8	0.6	▲27.9	▲18.8	▲4.0
木材	6.4	▲27.9	▲17.4	▲43.3	4.7	▲27.9	▲13.9	▲34.5
パルプ	▲15.5	▲19.7	▲27.1	▲45.9	4.3	▲9.2	▲36.1	▲29.9
紙類及び同製品	54.2	8.5	▲8.1	▲28.0	▲1.3	▲32.9	▲34.9	▲22.1
原動機	▲29.0	44.1	4.6	▲41.5	▲34.8	▲30.7	▲42.0	▲11.8
自動車の部分品	▲41.2	▲5.0	▲32.0	▲63.4	▲53.2	▲36.4	▲26.9	▲42.1

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

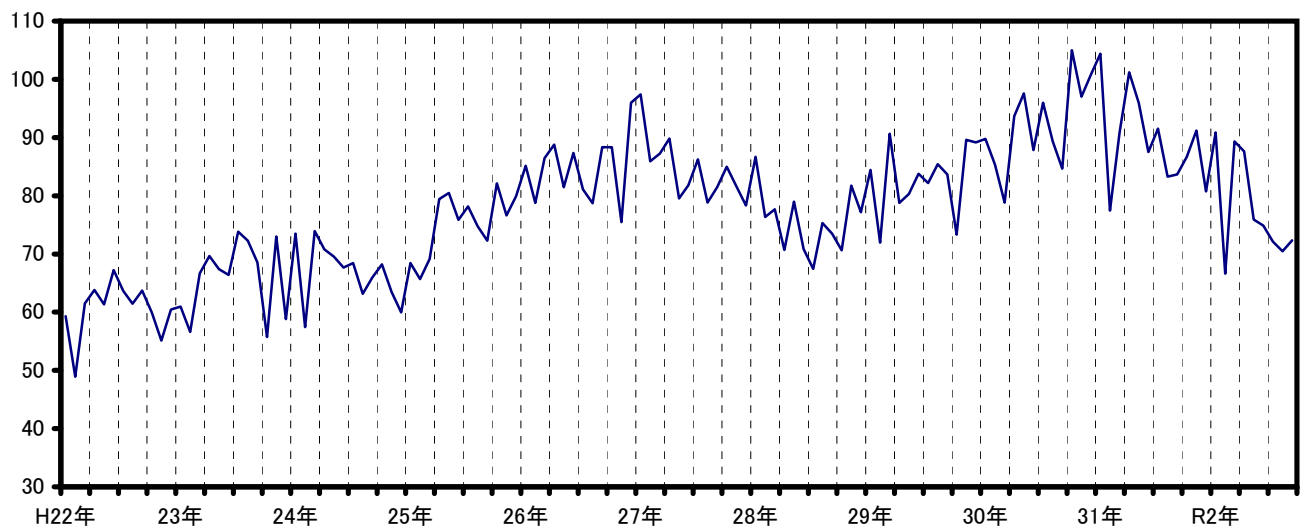
	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
アジア	▲26.9	7.1	▲15.2	▲29.7	▲17.4	▲23.5	▲8.5	▲21.4
米国	▲15.4	3.1	33.7	36.8	▲18.2	▲43.0	7.5	▲13.0
EU	▲18.6	▲18.3	▲18.9	▲33.0	34.3	▲24.9	▲1.4	1.7

<資料>清水税関支署

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



# 生産面

## 1 生産

### (1) 鉱工業生産指数

9月 = 94.1

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 4.4%増

\*前年同月比(原指数) : 3.9%減

#### <概況>

9月の鉱工業生産指数(総合)は94.1(季節調整済指数)で、前月比は4.4%増と、4か月連続で上昇した。また、前年同月比(原指数)は3.9%減と、16か月連続で前年水準を下回った。業種別にみると、電気機械(前年同月比4.7%増)が14か月ぶり、輸送機械(同4.8%増)が20か月ぶりに前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同23.5%減)が11か月連続、化学(同5.3%減)が8か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同6.2%減)が14か月連続、食料品・たばこ(同4.7%減)が2か月ぶりに前年水準を下回った。

#### <最近の動き>

	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
指数	97.4	95.0	75.4	69.6	82.1	88.5	90.1	94.1
前月比(%)	▲2.3	▲2.5	▲20.6	▲7.7	18.0	7.8	1.8	4.4
前年同月比(%)	▲7.3	▲5.8	▲26.5	▲34.5	▲14.8	▲12.5	▲10.2	▲3.9
(参考)全国前年同月比(%)	▲5.7	▲5.2	▲15.0	▲26.3	▲18.2	▲15.5	▲13.8	▲9.0

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

#### <県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲15.9	▲10.3	▲31.6	▲30.1	▲18.1	▲33.2	▲26.4	▲23.5
電気機械工業	▲21.8	▲8.1	▲22.5	▲32.7	▲20.3	▲16.0	▲10.0	4.7
輸送機械工業	▲4.2	▲3.9	▲52.4	▲54.2	▲8.3	▲2.6	▲4.8	4.8
化学工業	▲1.8	▲1.8	▲7.4	▲11.9	▲5.3	▲10.3	▲16.0	▲5.3
パルプ・紙・紙加工品工業	▲5.1	▲6.4	▲4.8	▲8.6	▲9.1	▲14.1	▲4.7	▲6.2
食料品・たばこ工業	4.9	0.2	▲3.8	▲29.5	▲18.8	▲7.6	0.5	▲4.7

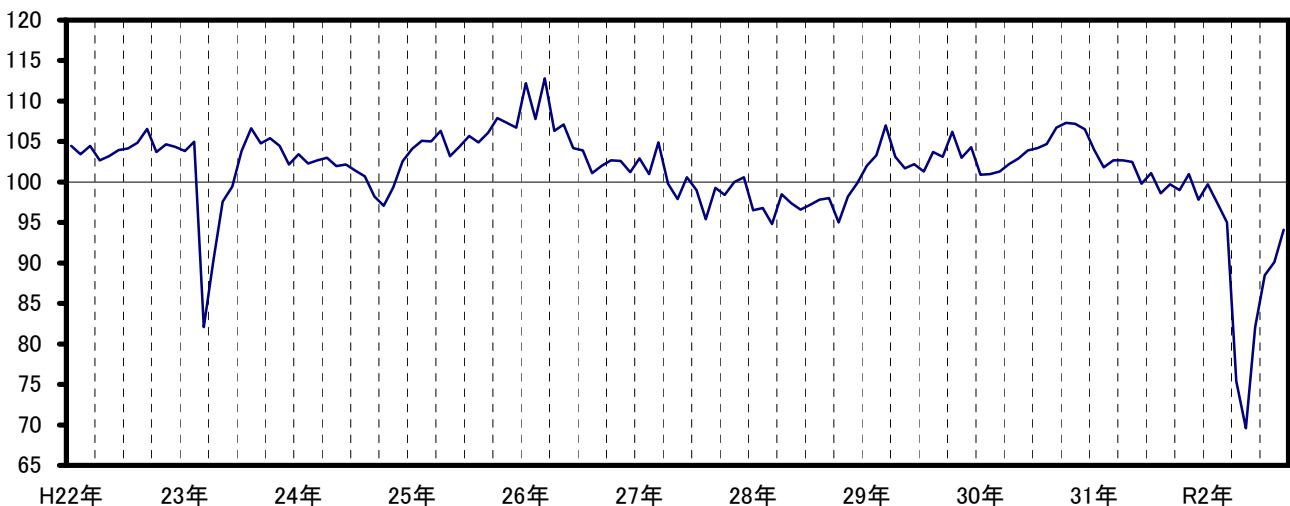
(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



## (2) 鋳工業在庫指数

9月 = 104.8

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 1.0%減

\*前年同月比(原指数) : 0.8%減

### <概況>

9月の鋳工業在庫指数(総合)は104.8(季節調整済指数)で、前月比は1.0%減と、2か月連続で低下した。また、前年同月比(原指数)は0.8%減と、2か月連続で前年水準を下回った。  
 なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。  
 業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比 8.1%増)が21か月連続、輸送機械(同 58.7%増)が5か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同 10.4%増)が2か月連続で前年水準を上回ったものの、電気機械(同 5.4%減)が9か月連続、化学(同 6.5%減)、食料品・たばこ(同 13.7%減)がいずれも4か月連続で前年水準を下回った。

### <最近の動き>

	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
指数	108.6	106.3	108.7	109.0	105.4	107.8	105.9	104.8
前月比(%)	▲4.7	▲2.1	2.3	0.3	▲3.3	2.3	▲1.8	▲1.0
前年同月比(%)	1.5	▲3.5	0.4	3.0	▲1.1	0.5	▲2.7	▲0.8
(参考)全国前年同月比(%)	1.6	2.9	2.7	▲0.5	▲3.4	▲4.8	▲5.9	▲5.7

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

### <県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
はん用・生産用・業務用機械工業	31.0	31.3	33.1	0.8	17.0	10.6	9.6	8.1
電気機械工業	▲11.7	▲9.7	▲8.7	▲4.9	▲0.8	▲12.5	▲13.4	▲5.4
輸送機械工業	32.5	▲5.9	▲27.1	10.8	43.3	54.1	21.6	58.7
化学工業	▲10.9	▲2.0	6.9	21.9	▲2.3	▲1.8	▲6.3	▲6.5
パルプ・紙・紙加工品工業	9.0	▲4.7	▲6.5	0.9	2.8	0.0	4.6	10.4
食料品・たばこ工業	12.3	▲1.2	13.6	7.4	▲7.7	▲4.4	▲5.7	▲13.7

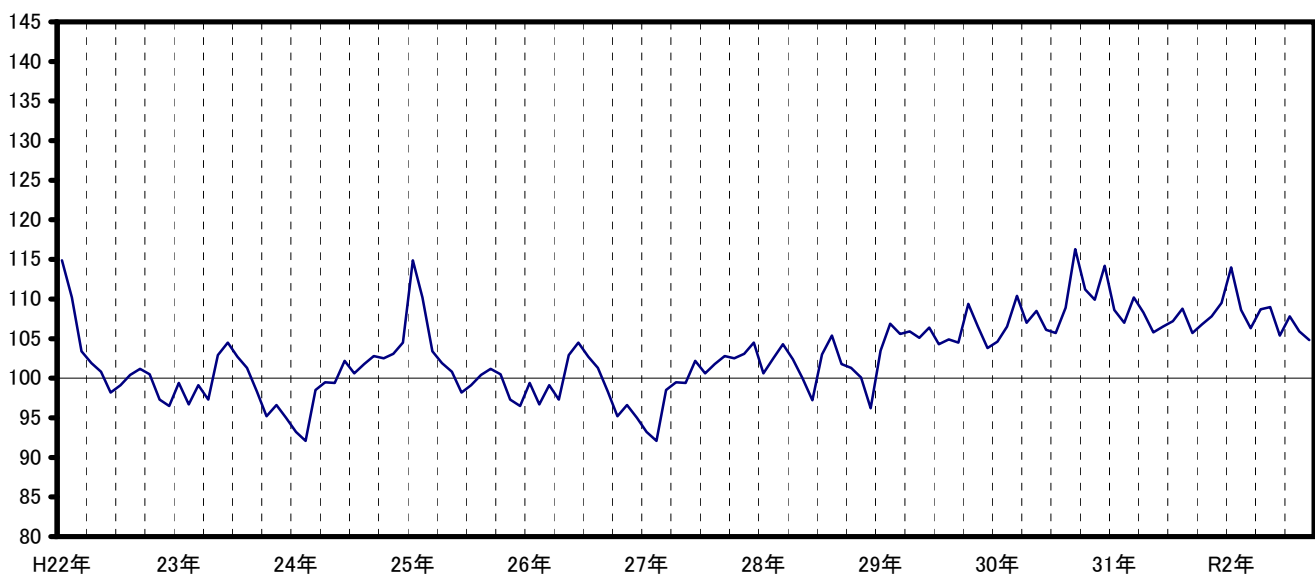
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

### <過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



# 雇 用 面

## 1 雇 用

### (1) 有効求人倍率

**9 月 = 0.90倍**

\*前月比 (季節調整値) : 0.02ポイント増

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

#### <概 況>

9月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は0.90倍となり、前月を0.02ポイント上回った。また、18か月連続で全国値を下回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比 22.0%減)は25か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、建設業(前年同月比 3.6%減)、運輸業・郵便業(同 42.5%減)、卸売業・小売業(同 24.3%減)がいずれも9か月連続、製造業(同 27.7%減)が22か月連続、情報通信業(同 28.0%減)が8か月連続、医療・福祉(同 11.6%減)が11か月連続、サービス業(他に分類されないもの)(同 31.0%減)が17か月連続で前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

(単位:倍)

	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
県	1.27	1.22	1.17	1.06	0.96	0.90	0.88	0.90
全 国	1.45	1.39	1.32	1.20	1.11	1.08	1.04	1.03

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

#### <産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
建 設 業	▲ 17.6	▲ 9.1	▲ 9.4	▲ 0.5	▲ 4.4	▲ 0.9	▲ 7.8	▲ 3.6
製 造 業	▲ 28.1	▲ 31.2	▲ 38.5	▲ 43.6	▲ 42.5	▲ 48.0	▲ 44.3	▲ 27.7
情 報 通 信 業	▲ 29.4	▲ 53.3	▲ 22.8	▲ 29.6	▲ 28.8	▲ 42.0	▲ 33.8	▲ 28.0
運 輸 業 ・ 郵 便 業	▲ 6.7	▲ 9.1	▲ 23.4	▲ 15.8	▲ 25.3	▲ 34.0	▲ 13.5	▲ 42.5
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 27.6	▲ 12.2	▲ 22.6	▲ 35.7	▲ 31.7	▲ 28.1	▲ 36.7	▲ 24.3
医 療 ・ 福 祉	▲ 17.2	▲ 16.8	▲ 10.7	▲ 27.7	▲ 18.7	▲ 10.8	▲ 26.8	▲ 11.6
サービス業(他に分類されないもの)	▲ 51.4	▲ 41.1	▲ 51.1	▲ 52.1	▲ 51.1	▲ 53.4	▲ 47.1	▲ 31.0
合 計	▲ 28.9	▲ 18.9	▲ 30.1	▲ 32.9	▲ 29.1	▲ 32.7	▲ 31.5	▲ 22.0

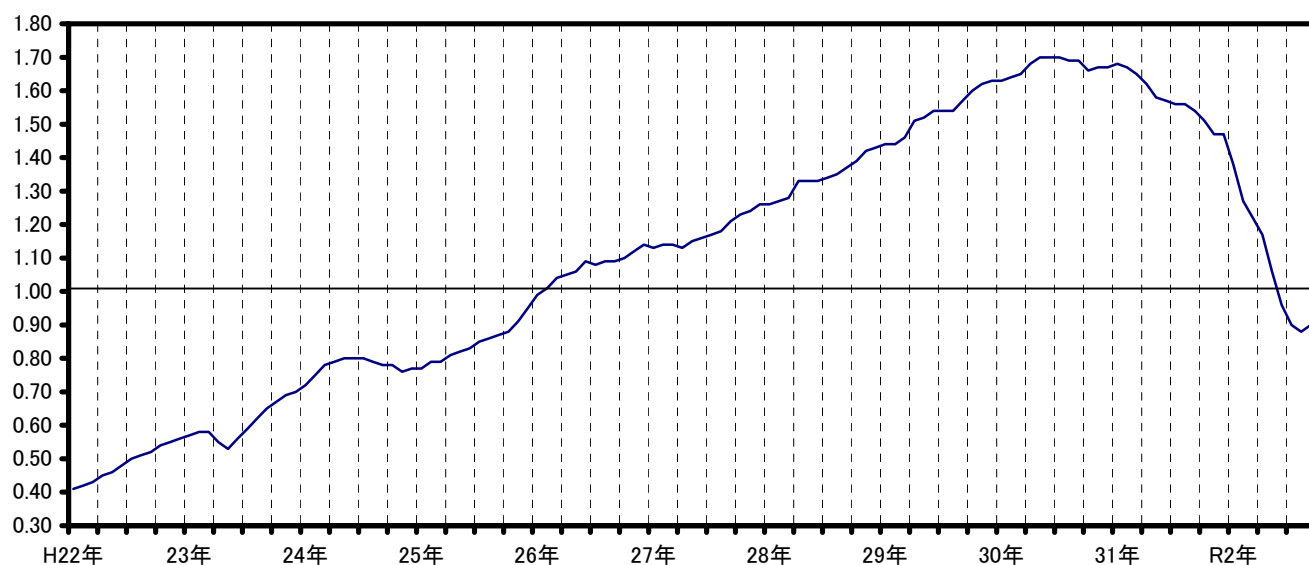
(注)学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

#### <過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省





(2) 雇用保険受給者実人員

9月 = 16,694人

\*前月比: 0.9%減

\*前年同月比: 44.8%増

<概況>

9月の雇用保険受給者実人員は16,694人で、前月比は0.9%減と、5か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比は44.8%増と13か月連続で前年実績を上回った。

完全失業率(全国)は3.0%と前月と同水準だった。

静岡県(令和2年4~6月)の完全失業率は2.2%で、前期(令和2年1~3月)から0.2ポイント悪化した。

<最近の動き>

	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人員(人)	10,142	10,192	9,880	11,648	14,183	16,199	16,852	16,694
前月比(%)	▲5.4	0.5	▲3.1	17.9	21.8	14.2	4.0	▲0.9
前年同月比(%)	6.5	7.7	1.6	8.0	33.3	41.8	48.3	44.8
(参考)全国前年同月比(%)	3.6	6.7	1.0	3.0	25.8	27.6	33.2	35.8

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
完全失業率(全国)(%)	2.4	2.5	2.6	2.9	2.8	2.9	3.0	3.0

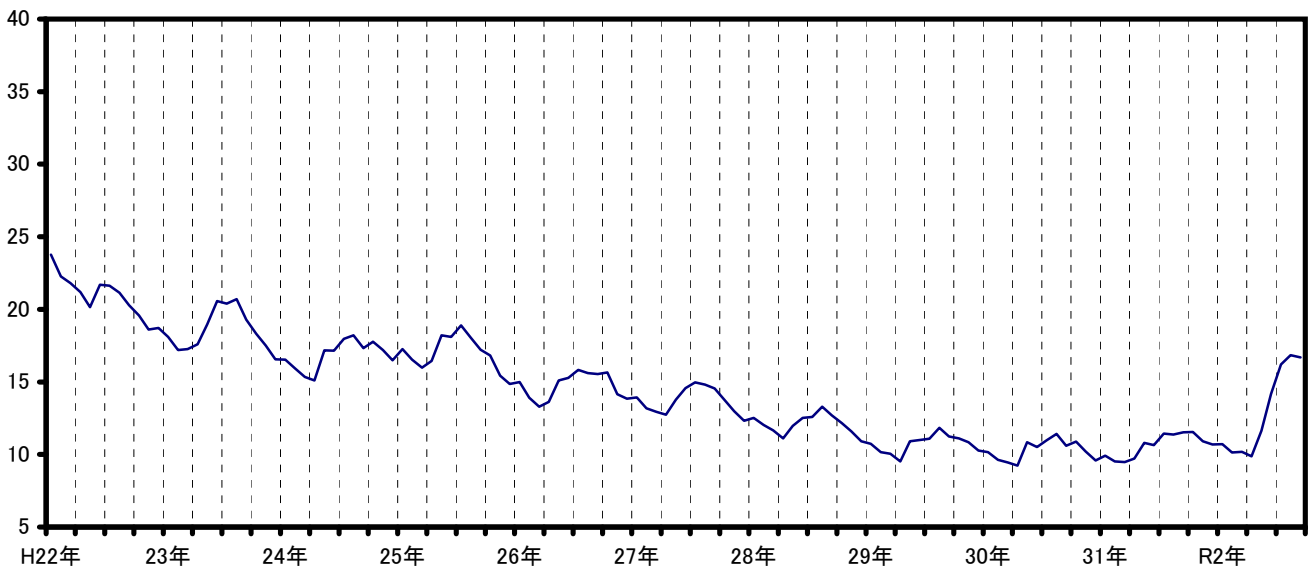
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



### (3) 所定外労働時間指数

8月 = 70.7

\*前月比(季節調整済指数): 10.0%増

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) \*前年同月比(原指数) : 22.7%減

#### <概況>

8月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は70.7(季節調整済指数)で、前月比は10.0%増となった。また、前年同月比(原指数)は22.7%減と、19か月連続で前年実績を下回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比 32.5%増)が2か月連続、医療・福祉(同 20.9%増)が3か月連続で前年実績を上回ったものの、製造業(同 33.1%減)が22か月連続、情報通信業(同 39.1%減)が9か月連続、運輸業・郵便業(同 30.7%減)が10か月連続、卸売業・小売業(同 15.0%減)、その他のサービス業(同 4.2%減)がいずれも5か月連続で前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
指数	90.8	88.1	89.9	71.6	55.1	57.9	64.3	70.7
前月比(%)	7.6	▲3.0	2.0	▲20.4	▲23.0	5.1	11.1	10.0
前年同月比(%)	▲3.2	▲6.1	▲3.1	▲22.3	▲38.2	▲31.7	▲26.6	▲22.7
(参考)全国前年同月比(%)	▲2.5	▲3.2	▲7.1	▲19.1	▲30.6	▲24.3	▲16.3	▲14.7

\*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
建設業	73.3	113.8	96.1	39.8	2.5	▲31.1	27.8	32.5
製造業	▲9.6	▲11.5	▲7.1	▲30.1	▲54.1	▲39.3	▲35.0	▲33.1
情報通信業	▲24.4	▲20.9	▲20.6	▲36.1	▲25.8	▲23.5	▲36.7	▲39.1
運輸業・郵便業	▲11.9	▲9.3	▲14.0	▲26.9	▲25.2	▲37.9	▲29.2	▲30.7
卸売業・小売業	3.9	▲1.3	13.9	▲12.5	▲25.6	▲13.7	▲25.6	▲15.0
医療・福祉	▲1.4	▲14.6	▲11.9	▲1.4	0.0	39.2	11.1	20.9
その他のサービス業	▲6.5	▲7.4	0.0	▲10.5	▲35.7	▲23.2	▲20.2	▲4.2
調査産業計	▲3.2	▲6.1	▲3.1	▲22.3	▲38.2	▲31.7	▲26.6	▲22.7

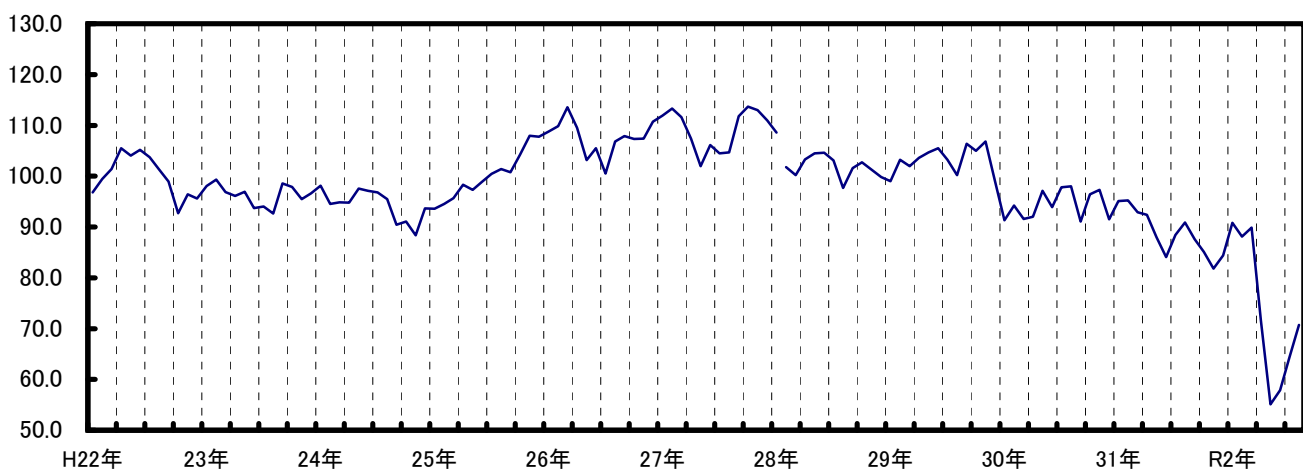
\*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



## そ の 他

### 1 物 価

#### 国内企業物価指数

10月 = 99.9

(平成27年=100)

\*前月比: 0.2%下落

\*前年同月比: 2.1%下落

#### <概況>

10月の国内企業物価指数は99.9となり、前月を0.2%の下落となった。また、前年同月比は2.1%の下落となった。

#### <最近の動き>

	R2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
国内企業物価指数	101.0	99.4	98.9	99.6	100.2	100.3	100.1	99.9
前月比 (%)	▲0.9	▲1.6	▲0.5	0.7	0.6	0.1	▲0.2	▲0.2
前年同月比 (%)	▲0.5	▲2.5	▲2.8	▲1.6	▲0.9	▲0.6	▲0.8	▲2.1

\*平成27年=100

<資料>日本銀行

### 2 金 融

#### (1) 県内金融機関貸出残高

9月 = 145,276億円

(銀行、信用金庫)

\*前月比: 0.1%増

\*前年同月比: 6.7%増

#### <概況>

9月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は145,276億円で、前月比は0.1%の増加となった。また、前年同月比は6.7%の増加となった。

	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
貸出残高(億円)	136,721	137,249	138,387	142,636	144,316	145,237	145,086	145,276
前月比 (%)	0.2	0.4	0.8	3.1	1.2	0.6	▲0.1	0.1
前年同月比 (%)	▲0.4	▲0.8	1.7	5.4	6.1	7.0	7.0	6.7

<資料>日本銀行静岡支店

#### (2) 貸出約定金利

9月 = 1.671%

(県内地銀4行総平均)

\*前月差: 0.007ポイント減

\*前年同月差: 0.102ポイント減

#### <概況>

9月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.671%で、前月から0.007ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.102ポイントのマイナスとなった。

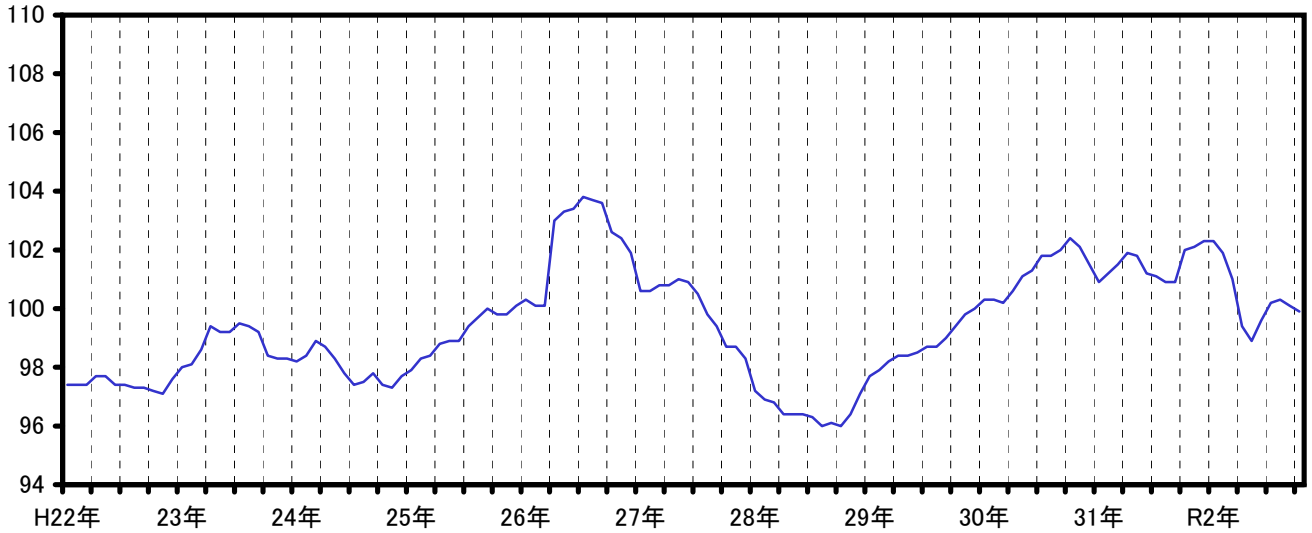
	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
貸出約定金利 (%)	1.761	1.740	1.723	1.710	1.686	1.686	1.678	1.671
前月差(ポイント)	▲0.008	▲0.021	▲0.017	▲0.013	▲0.024	0.000	▲0.008	▲0.007
前年同月差(ポイント)	▲0.148	▲0.145	▲0.117	▲0.123	▲0.127	▲0.108	▲0.108	▲0.102

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

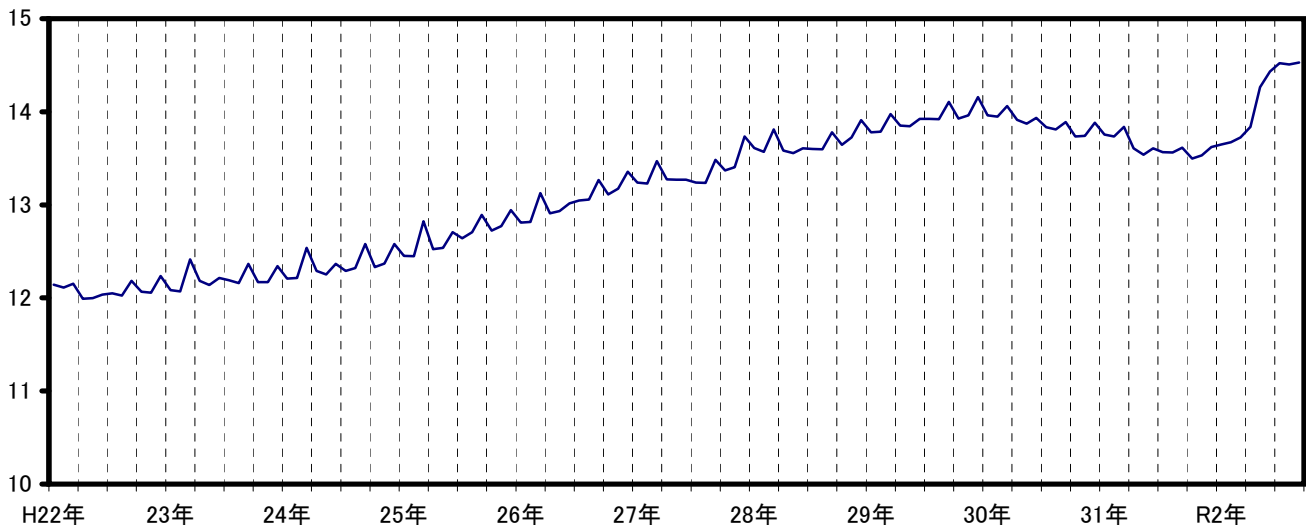
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



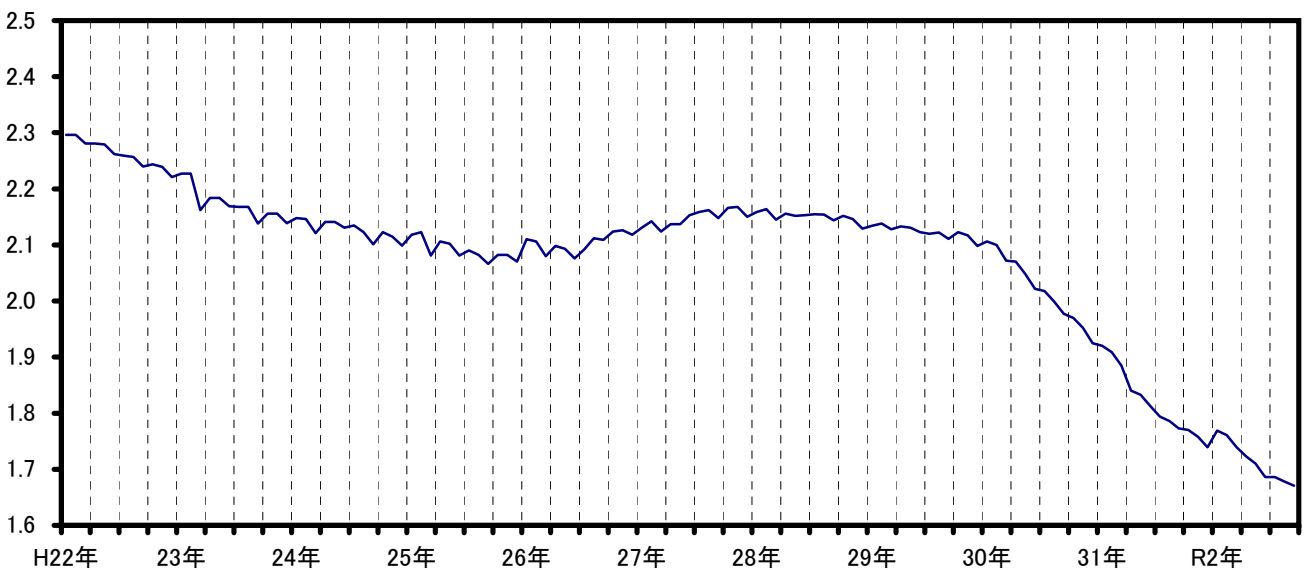
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



**(3) 信用保証協会保証金額****9月 = 46,212百万円**

\*前年同月比：243.4%増

## &lt;概況&gt;

9月の保証承諾は、金額は46,212百万円（前年同月比243.4%増）、件数は3,836件（同208.0%増）と、いずれも7か月連続で前年実績を上回った。

## &lt;最近の動き&gt;

	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
保証金額（百万円）	14,832	28,818	132,181	172,545	174,381	144,620	60,088	46,212
前年同月比（%）	▲7.4	49.6	1,178.7	1,345.9	1,185.2	933.1	408.5	243.4
保証件数（件）	1,550	2,582	6,152	8,566	12,152	10,346	4,791	3,836
前年同月比（%）	▲2.7	34.0	459.4	609.2	786.5	620.6	296.3	208.0

&lt;資料&gt;県信用保証協会

**(4) 円相場****10月 = 105.24円/ドル**

\*前月差：0.50円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

\*前年同月差：2.88円高

## &lt;概況&gt;

10月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は105.24円で、前月と比べて0.50円の円高となり、4か月連続で円高となった。

## &lt;最近の動き&gt;

	R2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
平均相場（円）	107.29	107.93	107.31	107.56	106.78	106.04	105.74	105.24
前月差（円）	▲2.67	0.64	▲0.62	0.25	▲0.78	▲0.74	▲0.30	▲0.50
前年同月差（円）	▲3.92	▲3.73	▲2.52	▲0.50	▲1.44	▲0.23	▲1.67	▲2.88

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

**3 企業経営****企業倒産件数****10月 = 11件**

\*前年同月比：26.6%減

## &lt;概況&gt;

10月の負債総額1,000万円以上の企業倒産は、件数は11件（前年同月比26.6%減）、負債総額は809百万円（同53.0%減）と、いずれも前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が9件と全体の81.8%を占め、275か月連続して50%以上となっている。

## &lt;最近の動き&gt;

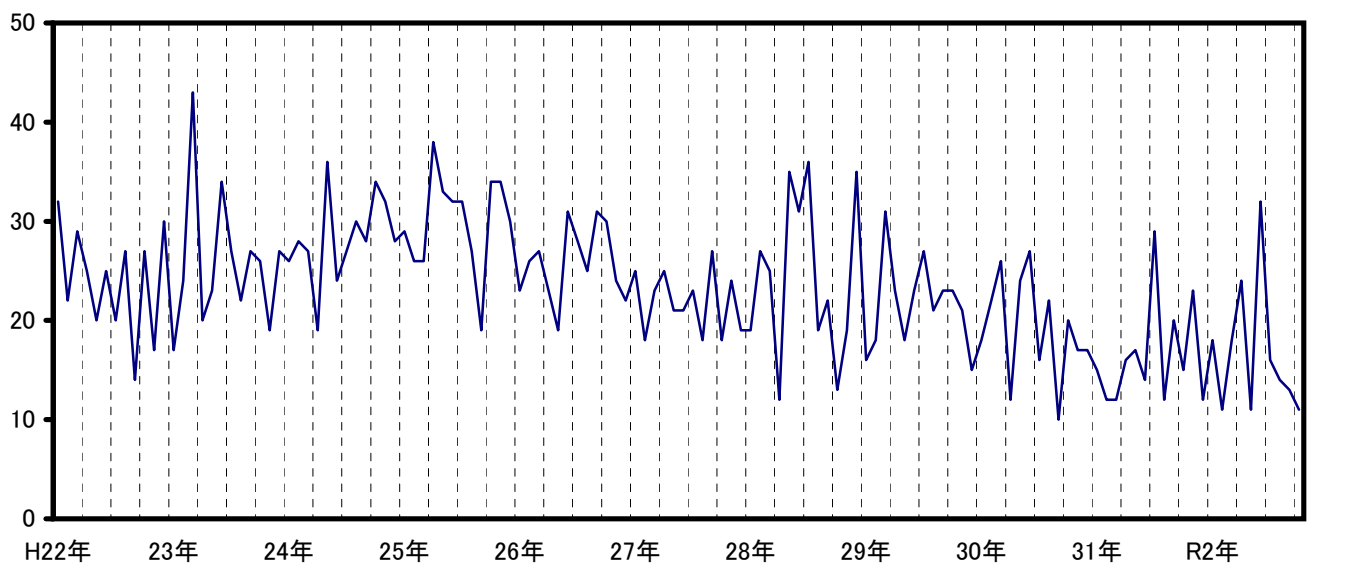
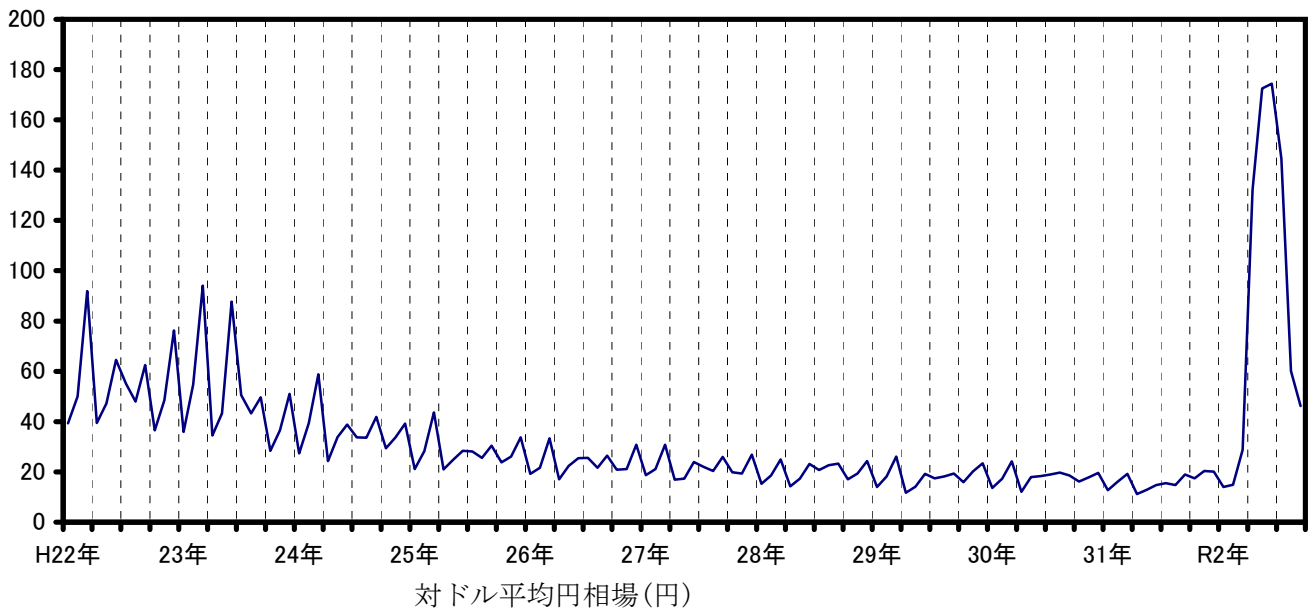
	R2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
倒産件数（件）	18	24	11	32	16	14	13	11
前年同月比（%）	50.0	41.1	▲35.2	128.5	▲44.8	16.6	▲35.0	▲26.6
うち不況型倒産件数（件）	17	21	9	29	14	13	12	9
負債総額（百万円）	2,270	7,493	1,669	2,398	1,732	1,907	1,136	809
前年同月比（%）	▲47.5	191.3	▲9.6	▲24.8	▲55.7	30.7	▲26.3	▲53.0

&lt;資料&gt;（株）東京商工リサーチ静岡支社

<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



### Ⅲ 令和2年9月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>8月の国内二輪車生産台数は、28,675台（前年同月比 21.7%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、5,643台（同 44.8%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、3,036台（同 28.3%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、7,552台（同 69.5%増）と、4か月ぶりに前年実績を上回った。小型二輪車（251cc以上）は、12,444台（同 29.6%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数※は、国内向けは、27,356台（同 2.1%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。輸出向けは、18,479台（同 14.3%減）と、8か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>※日本自動車工業会が発行する自動車統計月報がVol.54 No.6（2020年9月号）を以って終了したため、8月以降は、日本自動車工業会データベースを使用する。データ元の変更に伴い、出荷台数の値が、工場出荷数から店頭出荷数に変更となる。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>8月の自動車国内生産台数は、556,276台（前年同月比 18.0%減）と、11か月連続で前年実績を下回った。輸出は269,953台（同 22.8%減）と、11か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が11か月連続、トラックが13か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも11か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>9月の冷蔵庫の国内出荷額は446億円（前年同月比 13.4%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回り、国内出荷台数は362千台（同 14.7%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>9月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは632千台（同 13.6%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。業務用は73千台（同 10.7%減）と、8か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>9月の携帯電話の国内出荷台数は、1,113千台（同 7.5%増）と、4か月ぶりに前年実績を上回った。うち、スマートフォンは、874千台（同 24.9%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。単月のスマートフォン比率は78.5%だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>9月の工作機械の受注総額は、840億9,900万円（前年同月比 15.0%減）と、24か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は538億2,900万円（同 1.7%増）と、24か月ぶりに前年実績を上回った。アジア向けが295億4,000万円（同 49.2%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。内需は302億7,000万円（同 34.3%減）と、22か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業からは、「仕事量減少による競争の激化で、価格を下げざるを得ない状況になってきている。」「自動車部品業界の持ち直し気運から、機械設備業界への波及効果を期待するが、年度内の浮上には厳しいものがある。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>9月の県内楽器メーカーの販売金額は、42億6,320万円（前年同月比8.1%減）と、12か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが25億5,284万円（同1.3%増）と、国内向けが17億1,036万円（同19.4%減）だった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,787台（同4.2%減）だった。機種別では、アップライトピアノが1,941台（同1.9%増）、グランドピアノ846台（同15.7%減）だった。また、販売台数は、輸出向けが2,558台（同15.6%増）、国内向けが749台（同37.2%減）だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>9月の紙・板紙の国内出荷高は、1,771千トン（前年同月比11.1%減）と、14か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は880千トン（同16.8%減）と、14か月連続で前年実績を下回った。板紙は891千トン（同4.6%減）と、12か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、475千トン（同18.5%減）と、14か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、143千トン（同14.5%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>9月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,118千箱（前年同月比19.2%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は761千箱（同19.7%増）と、7か月連続で前年実績を上回った。うち、主力であるツナ缶は591千箱（同17.7%増）と、6か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は357千箱（同18.3%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが6,494千箱（同5.9%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>9月の広幅織物の県内生産は、640千㎡（前年同月比51.0%減）と、16か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、583千㎡（同52.9%減）と、18か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、57千㎡（同19.7%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、15千㎡（同35.1%減）と、30か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>9月の全国百貨店での家具販売額は、42億7,277万円（前年同月比36.2%減）と、12か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、564億9,376万円（同2.1%減）と、4か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>



業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>9月の県内百貨店・スーパーの販売額は、34,892百万円（既存店前年同月比 10.7%減）と、前年実績を下回った。品目別では、飲食料品のみが前年と比較して増加しており、その他の品目（衣料品、身の回り品、家庭用品、その他の商品、食堂・喫茶）では、減少した。特に、衣料品や家庭用品の減少幅が大きかった。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、売上げは、新型コロナウイルス感染症の影響が特に大きかった頃から、回復しつつあるが、消費税率引上げ前の駆け込み需要があった前年9月の実績と比較すると、本年同月の値は減少した。特に、外出自粛の傾向が続いていることや、大手アパレル店が撤退したことにより、衣料品の売上げが不調であった。</p> <p>中部の専門店への聞き取りによると、百貨店と同様に、売上げは回復傾向にあるものの、本年9月の売上げは、やはり駆け込み需要があった前年同月の実績を下回った。品目別に見ると、家で過ごす時間を快適にする雑貨や家電の売上げが好調であった一方で、衣料品の売上げが不調であった。</p> <p>西部の食品スーパーへの聞き取りでは、家で食事を作る消費者が多いことを受け、売上げは、前年同月の実績を上回った。また、外出の機会を減らすため、まとめ買いをする消費者が多いことから、客単価も前年同月と比較して上昇した。</p> <p>低迷が続いていた百貨店や専門店の売上げは、戻りつつあるものの、依然として、前年実績を下回っている。また、消費者の外出自粛の傾向は続いており、全て業態の売上げに影響を与えていた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>9月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約34万人で、前年同月比7.9%減だった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が続いているものの、国の「GO TOトラベルキャンペーン」及び本県の「バイ・シズオカ～今こそ！しずおか!!元気旅!!!」等の観光需要喚起策が実施されていることもあり、対前年同月比の減少率は今年度で最も小さくなった。</p> <p>主要有料道路（4路線<sup>※1</sup>）の合計通行車両数は、約56万台となり、前年同月比21.9%減だった。</p> <p>※1 遠州大橋（新掛塚橋）が令和元年9月28日から無料化されたことに伴い、令和元年10月から対象が5路線から4路線へと減少</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

## ＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

### <二輪車>

	R 2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
完成車生産台数(台)	26,140	25,984	20,626	18,471	4,821	12,273	13,856	14,410	21,253
前年同月比(%)	7.6	3.1	▲ 5.6	▲ 2.3	▲ 74.0	▲ 30.8	▲ 37.1	▲ 11.2	▲ 13.7
KD輸出額(百万円)	1,278	1,559	1,524	1,082	32	526	514	506	658
前年同月比(%)	67.1	91.1	91.8	25.4	▲ 97.2	▲ 43.5	▲ 66.3	▲ 47.2	▲ 35.5

### <楽 器>

	R 2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
生産総額(百万円)	3,062	2,707	3,166	1,997	1,130	2,128	2,326	1,801	2,341
前年同月比(%)	8.9	▲ 10.7	0.5	▲ 39.6	▲ 64.6	▲ 32.5	▲ 35.7	▲ 32.3	▲ 22.0

### <缶詰>

	R 2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
食缶生産高(千ケース)	873	842	1,006	1,173	1,113	1,145	1,062	1,029	1,118
前年同月比(%)	▲ 5.7	▲ 5.5	▲ 0.2	17.2	25.0	21.0	▲ 0.8	14.1	19.2
うち水産缶詰(%)	▲ 16.9	▲ 8.3	1.2	18.5	29.1	28.9	3.8	13.5	19.7
農畜産缶詰(%)	23.9	0.2	▲ 2.8	14.4	16.6	6.3	▲ 9.0	15.3	18.3
飲料缶生産高(千ケース)	4,888	6,002	8,263	7,742	6,986	7,190	8,475	7,336	6,494
前年同月比(%)	5.1	8.1	6.9	▲ 0.0	▲ 13.1	▲ 13.1	1.2	11.5	▲ 5.9

### <織 維>

	R 2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
広幅織物(千㎡)	1,302	1,216	1,164	1,028	755	732	663	577	640
前年同月比(%)	▲ 15.0	▲ 12.7	▲ 14.3	▲ 19.6	▲ 37.4	▲ 37.0	▲ 39.5	▲ 46.1	▲ 51.0
小幅織物(千㎡)	25	24	22	20	17	15	11	13	15
前年同月比(%)	▲ 14.2	▲ 13.7	▲ 16.4	▲ 25.5	▲ 32.8	▲ 41.3	▲ 55.9	▲ 37.1	▲ 35.1

### <観 光>

	R 2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
観光施設(10施設)入込 (千人)	313	301	345	131	21	234	223	389	342
前年同月比(%)	2.3	8.2	▲ 28.2	▲ 76.5	▲ 96.7	▲ 28.6	▲ 26.6	▲ 24.2	▲ 7.9
有料道路(4路線)通行量 (千台)	512	556	532	318	315	420	489	687	558
前年同月比(%)	▲ 1.2	8.4	▲ 13.3	▲ 55.8	▲ 58.5	▲ 36.3	▲ 32.7	▲ 22.0	▲ 21.9

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標  
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

### 提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	<a href="http://www.ejcs.co.jp/region/index.html">http://www.ejcs.co.jp/region/index.html</a>
設備投資	日本銀行静岡支店	<a href="http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html">http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html</a>
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	<a href="http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm">http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm</a>
円相場		

### 参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	<a href="http://www.meti.go.jp/statistics/index.html">http://www.meti.go.jp/statistics/index.html</a>
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	<a href="http://www.mof.go.jp/siryou.htm">http://www.mof.go.jp/siryou.htm</a>
国際収支		
機械受注	内閣府	<a href="http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html">http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html</a>
完全失業率	厚生労働省	<a href="http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html">http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html</a>
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告  
令和2年11月号 通巻535号

発行 静岡県経済産業部  
令和2年11月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課  
〒420-8601  
静岡市葵区追手町9-6

TEL 054-221-2635

FAX 054-221-3217

E-mail [sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp)

URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>